

大学生の自己調整学習を支援する 学習環境の設計とその効果に関する研究

研究者プロフィール

- ・教養教育センター 講師 遠海友紀
- ・専門分野：教育工学
- ・研究分野：大学教育、学習支援、学習環境、初年次教育
- ・所属学会：教育工学会、大学教育学会、教育メディア学会、初年次教育学会

研究内容

自己調整学習とは、学生が自ら学習の目標を設定し、学習方法を計画・実行し、進捗をモニタリングしながら必要に応じて学習戦略を調整するプロセスを指します。大学生が効果的に自己調整学習を行うためには、適切な学習環境とそれを支援する仕組みが不可欠です。

本研究では、大学生がどのような環境と支援を受けているかを調査し、それを踏まえて、自己調整学習を効果的に支援するための具体的な学習環境と支援方法を提案することで、大学教育における学習支援に貢献することを目指します。

関連キーワード

自己調整学習、学習支援、学習環境、ラーニング・コモンズ、初年次教育

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

- ・地域教育機関との協働による学習環境・学習支援の検討

地域の教育機関と連携し、大学での効果的な学習環境や学習支援を地域全体に広げる取り組みについて検討することで、大学進学前から学生の自己調整学習を促進する環境を整える取り組みの一端に寄与できる可能性があります。

研究者への連絡先

産学連携推進センター

E-mail srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

電話 022-354-8122